

■豪雪地帯での現地調査■

平成26年3月7～11日に、(独)森林総合研究所、(独)防災科学技術研究所、京大防災研耐風構造及び山地災害環境研究領域と合同で、新潟県上越市安塚区の中山間地で現地浸透能試験や積雪調査を行いました。今回は天候の変化が目まぐるしく変化し、多くの困難を伴いましたが、何とか所定の調査を終えることができました。



降りしきる雪の中を現場に向かう調査隊

今回は、一晩で60cmも降る暴風雪日や快晴の日もあり、天候の激変に翻弄され、一喜一憂した調査となりました。



掘削を完了したトレンチ



暴風雪にも余裕？のN隊員



掘削開始



地下水温調査



積雪密度調査



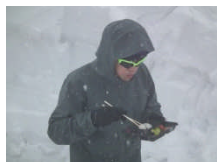
現地浸透能試験



快晴に恵まれた大規模崩壊地での巡検



菱ガ岳北面の崩壊跡地



立ったまま凍った弁当をばくつくO隊員



ハードなラッセルにも余裕のS²隊員



天候が回復した最終日の楽しい昼食



帰途につく前に記念撮影

今年も皆様のご協力により、充実した調査を行うことができました。森林総研の岡本さん、防災科研の平島さん、防災研の丸山先生、松四先生からは、貴重な助言や的確な指導をいただき、感謝申し上げます。